

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生看護学方法論Ⅶ （健康相談・家庭訪問）	4年次 前期	必修	講義	1単位 （30時間）	駒形恵理子 ※
授 業 概 要					
人々が自らの健康やQOL向上を維持・改善するため、個人や家族の健康課題とコミュニティの健康課題を連動させながら、対象の生活に視点をおいた支援の方法と個別（個人・家族）支援の具体的な展開過程を学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 個別支援の目的、機能、対象とその特性、方法、技術、プロセスについて説明する。 2. 対象の状況に応じた、支援方法の選択基準を説明する。 3. 個別支援の基本的な展開過程について説明する。 4. 個人・家族の対象理解の方法について説明する。 5. 個別支援実施における支援技術と方法について述べる。 6. 個別支援における、関係者との協働について理解する。 7. 個別支援のフォローアップの方法について説明する。 8. 個別支援から集団・コミュニティへの活動の反映について理解する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	1. 個別（個人・家族）支援の方法・技術 1) 個別支援の目的、機能、対象とその特性、方法、プロセス 健康相談の対象、方法とその特性 家庭訪問の対象、種類、特性 2) 支援方法の選択と優先順位の考え方 3) 初回・継続・緊急・拒否等への支援技術 4) 個別支援から集団・コミュニティへの活動の反映  2. 個別（個人・家族）支援の展開過程 1) 対象理解：個人・家族の情報収集、アセスメント 2) 顕在的・潜在的健康課題の抽出 3) 支援計画立案 4) 個別支援の実施（導入・展開・まとめ） 5) 関係者との協働 6) 評価・フォローアップ				駒形恵理子 ※
学 習 方 法					
講義、グループワーク 既習の知識を踏まえたうえで、個人・家族支援の具体的な展開方法を学習するため、学習内容に関連する既習の知識については、事前学習・自己学習が必要である。					
評 価 方 法					
科目修了試験					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書、参 考 書					
〔教科書〕 公衆衛生看護学.jp 荒賀直子 インターメディカル					